

# 協働の まちづくり

## ニュース

Vol. 34  
2018.4月号



### オール日向祭～地域と市民活動フェスタ～

2月25日（日）に日向市文化交流センターにて「オール日向祭」（主催：地域と市民活動フェスタ実行委員会）が開催されました。このイベントは、パネル展や発表を通して様々な市民活動を知ってもらおうと毎年開催されており、今年も大変賑わっていました。※詳しくは、P2をご覧ください。



- P 2 オール日向祭～地域と市民活動フェスタ～
- P 3 地域おこし協力隊
- P 4～5 新しい地域コミュニティ組織制度事業  
○4地区の動き
- P 6～7 国際交流  
○World Music Night ○陶芸教室
- P 7 自治公民館振興大会

## 隊員の活動① ～道の駅とうごう 山中 裕貴～

### ◇Hutte 夜市場

2月17日(土)、宮崎市にある「若草 Hutte&co-ba Miyazaki」で開催された「Hutte 夜市場」というイベントに参加してきました。これは、県内各地から若手生産者や面白い取り組みをしている人たちが集結し、お客さんと近い距離感でのマルシェを週末の夜に開催するというものです。

昨年末、若草 Hutte の責任者の今西さんからこのイベントについてのお話を頂き、以前から宮崎市内での販売に興味のあった私は、すぐに道の駅とうごうとして参加することを決めました。



会場ようす

当日は、キュウリ・ピーマン・イチゴ・トマトなどの農家さんやコーヒー屋さん、アクセサリー屋さんなど多種多様な作り手の方々が集結し、会場は大盛り上がりでした。

道の駅とうごうからは、名物の牧水そば、旬の炒り落花生、地蜜や黒米などを持っていきました。何もかもが初めての試みばかりで、不安なことも多々ありましたが、終わってみれば、持ってきた商品はほとんど売ることができ、多くのお客さんに道の駅とうごうの魅力を伝えられたと思います。また、同じ宮崎県内で頑張っている生産者の方々との交流は、大変刺激になりました。皆さんを見習って、これからも自分の納得できる、良いと思えることを愚直に継続していきたいです。

道の駅とうごうブース



そして、この夜市場ですが、すでに第2回目開催の話もあがっているとか、いないとか。機会があれば、是非また参加したいと思える素晴らしい試みでした。関わったすべての方に感謝したいです。

## 隊員の活動② ～塩見まちづくり協議会 本宮 典子～

### ◇ワクワクアート

昨年11月、美術アーティストの谷山恭子さんが東郷町のスマイルホーム360(旧・福瀬小学校)を訪れました。彼女は福瀬地区に来るアオバズクを壁一面に制作、また、ワークショップでは来場者に作成してもらったスタンプを使って、校庭に掲揚する旗を3枚制作されました。私も協力隊としてそのお手伝いに行ってきたのですが、谷山さんは母校の先輩にあたる方だったので、作業過程を近くで拝見でき、とても興味深かったです。入所者の方々と仲良くさせていただき、素敵な時間を過ごせました。

スマイルホーム360では、おいしいコーヒーや食事いただけます。ぜひ皆さんも訪れてみてください。



製作されたアオバズク

### ◇第8回塩見ウォーク

塩見まちづくり協議会の大イベントの1つ、「塩見ウォーク」が2月25日(日)に開催されました。今回は、ひょっとこ踊り発祥地の永田地区をさるき(歩き)しました。雨天の中、歩き終えた参加者の方々に、温かい手打ちそばとブルーベリー葉茶、蒸しパンをふるまったのですが、多くの方々とふれ合うことができ、とても素敵なイベントになったと改めて実感しました。

今回のイベントの目的の1つでもあった、「自分の地域を改めて知る」ということはとても大切なことだと思います。皆さんも自分の住んでいる地域を歩いてみると、思わぬ発見があるかもしれませんよ。



ふるまいの準備ようす

# オール日向祭が開催されました

2月25日(日)に日向市文化交流センターにおいて、「オール日向祭」(主催:地域と市民活動フェスタ実行委員会)が開催されました。

このイベントは、市内のさまざまな分野で市民活動に取り組まれている団体が、日ごろの活動を広く市民の皆様に披露するため、自分たちで企画から運営まで行っており、毎年、約50の団体が参加しています。

当日は、雨の降るあいにくの天候でしたが、大人から子どもまで幅広い年齢層に楽しんでもらえる内容となっており、多くの方が訪れ楽しんでいました。



イベントは、各団体によるパネル展示や活動発表、体験コーナーのほか、手作りおもちゃ、呈茶振舞い、雑貨市、ピアノやマンドリンの演奏、物産販売、交通安全体験車、スタンプラリー、フードコート、スープの振舞いなど、盛り沢山の内容となっていました。

中でも、フードコートは例年以上の出店があり、来場された方で賑わいました。

また、日向高校や富島高校、門川高校の生徒たちも参加し、アカペラの披露や作品展示、研究発表等を行い、イベントを盛り上げていました。



屋内の各団体による発表会場では、史談会による日向市史の紙芝居や、財光寺農業小学校による活動報告、子ども研究所「絆」による子ども食堂の活動報告など、これまでの研究成果や取り組みについて発表されていました。

屋外ステージでは、日向十五夜太鼓や冠太鼓の演奏をはじめ、こども落語、舞踊連盟による日本舞踊、司会を務めていただいた小田矢かなさんの歌謡ショーなどが行われ、演奏に参加したりダンスを踊る観客がいたり、会場が一体となっていました。



その他の活動をもっとお知りになりたい方は、「日向市地域おこし協力隊」「道の駅とうごう」「塩見まちづくり協議会」のFacebook ページをチェック!

◆細島地区の取り組み

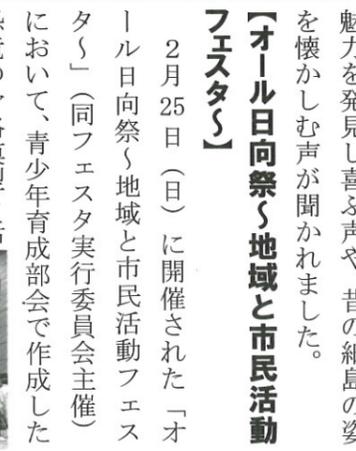
【成人・還暦祝い餅まき大会】

今年度めでたく成人を迎えられる新成人と、還暦を迎えられる方々の人生の節目をお祝いするため、1月7日(日)に細島小学校体育館にて、新春福餅まき大会が行われました。前日の6日(土)に細島地区住民の方や協議会員で餅つきを行い、成人式当日は式を終え細島に戻ってきた新成人と還暦を迎えられた方々で盛大に餅まきを行いました。細島地区内外から集まった多くの方と一緒に成人・還暦をお祝いするとともに、参加者の1年間の無病息災、細島の更なる発展を願う良い1日となりました。



【港町細島風景写真展】

地域にある景観の価値を再認識し、その保全及び魅力を発信することを目的に「港町細島風景写真展」が2月4日(日)から18日(日)まで開催されました。(一社)宮崎県建築士会、宮崎県景観まちづくり研究会との共



【オール日向祭く地域と市民活動フェスタ】

2月25日(日)に開催された「オール日向祭く地域と市民活動フェスタ」(同フェスタ実行委員会主催)において、青少年育成部会で作成した恐竜の骨格模型と活動紹介パネルを展示しました。迫力の恐竜の出来栄に多くの方から驚きや感嘆の声が上がっていました。



◆平岩地区の取り組み

【まつり平岩】

12月3日(日)の平岩愛宕神社大祭に併せ、南日向コミュニティセンター周辺でまつり平岩を開催しました。センター前を「おまつり広場」として、子どもたちによる演技の披露や、もちまきなどを行いました。会場は大変盛り上がり、来場された方々も満足の笑みを浮かべていました。



【ふれあい朝市・もちつき】

12月24日(日)、南日向コミュニティセンター前で第36回平岩ふれあい朝市を開催しました。今回は平岩農業小学校を含め15の出店があり、会場は野菜等を買求める人たちで賑わっていました。また、朝市に併せてもちつきも行われ、ついたもちちは来場者にもふるまわれました。つきたてのもちに、皆、大満足していました。



【新春たこあげ大会】

1月13日(土)、お倉ヶ浜で第10回新春たこあげ大会を開催しました。今回は、過去最多となる64名の参加がありました。当日は晴天に恵まれ、参加者たちの手作りだこや連だこなどが青空を気持ちよさそうに泳いでいました。



【福祉講演会】

2月17日(土)、平岩ふれあい館で福祉講演会を開催しました。今回のテーマは「地域で安心して暮らすには!」、講師は日向市社会福祉協議会の「トメ&トモ」のお二人でした。寸劇を交えながらの講演で、参加者の方々も地域福祉の秘訣を楽しく学べたようです。



◆塩見地区の取り組み

【今年永田をウォーキング】

協議会最大のイベント「塩見ウォーク」が2月25日(日)に開催されました。当日の空はあいにくの雨模様でしたが、100人を超える参加者が集まりました。

第8回となる今回は「民俗神の宝庫 永田 ひよっとこ踊りの起源を探る」と題し、永田区内の天神神社、稲荷神社、お大師さんなどを巡る約7.7kmのコースが設定されました。それぞれの場所では、協議会の特別顧問でもあるNPO法人「かごしま探検の会」の東川隆太郎先生によるポイント解説が行われ、神社に伝わる伝説や、石碑の意味などが説明されました。

参加者は、「自然が感じられて良かった」、「塩見出身なのに初めて知ることばかり!」、身近にある歴史に感心しながら自然の中のウォーキングを楽しんでいました。



ゴール後は、振る舞いのソバと蒸しパンを食べながら東川先生のお話を聞きました。NHK大河ドラマ「西郷どん」原作の方言監修を務める先生が披露する写真には、大物俳優がズラリ!!

【仙洞庵(せんとうあん)】

ここで、今回の塩見ウォークで中継ポイントとなった稲荷神社「仙洞庵(せんとうあん)」にまつわる伝説をご紹介します。

江戸時代の初期、キコリの老人が永田村の仙洞庵で作業をしていたところ、風をよそして白狐に木材で大けがをさせてしまいました。老人は、悲鳴をあげて逃げていった狐のことが忘れられず、また、村に不作や不幸が続いたことから、祠を造り、稲荷神社として祀りました。村は次第に平和になっていきました。



しばらくして、白狐から返礼がしたいので願いがあれば祈願するようにお告げがありました。村の夫婦、兵助とオカメが子宝を祈願しますが、狐に化けて姿を現した稲荷大明神は、オカメの美しさに魅せられ、連れ去ろうとします。この時の狐(稲荷大明神)、オカメ、兵助の動作が、永田稲荷神社の「ひよっここ踊り」として踊られてきたと伝えられます。(諸説あります。)

◆東郷地区の取り組み

【まちづくり講演会】

10月28日(土)に東郷公民館さくら館において、小林市役所地方創生課の森本潤葵さんを講師に招き、まちづくり講演会を開催しました。森本さんは、小林市のPR動画「ンダモンタン小林」の制作に携わっており、今回の講演会でも西諸弁を交えた大変面白い話をしていただきました。

参加した80名を超える地域の方々が、話を熱心に聞き入っていました。



【健康ミニバレーボール大会】

10月29日(日)に東郷体育館で健康ミニバレーボール大会を開催し、8地区11チーム、78名の方が選手として参加しました。

今年の大会から、東郷町外に住んでいる方も出身者であれば参加可能としたため、昨年より2チーム多く参加しました。大会結果(優勝チーム)は次のとおりです。  
A. パート 鶴野内 A  
B. パート 仲深  
C. パート 福瀬



【牧水の里の秋祭り(作品展示)】

12月14日(木)から17日(日)にかけて、東郷公民館さくら館にて文化作品の展示を行いました。地域の皆さんや、小中学校、幼稚園の子ども達から、約200点の作品を持ち寄っていただきました。来場された方は、表現豊かな数々の作品に見入っていました。



【出前講座】

11月8日(水)に今年度第1回目の出前活動を越表区公民館で開催し、地区の方々30名の参加がありました。

東郷病院の看護師による寸劇、日向警察署坪谷駐在所長による交通安全・振込め詐欺への注意、市総合政策課からデマンドバスの利用促進についての説明があり、看護師による寸劇では、参加者の笑い声が越表の山々に響きました。





# World Music Night

2月17日(土)、市文化交流センター小ホールで、日向市国際交流まちづくり推進協議会主催の国際交流音楽イベント「ワールド・ミュージック・ナイト」を開催しました。このイベントは、同協議会主催で毎年大好評のイベント「おしゃべりDE国際交流」に音楽を取り入れたイベントで、参加者の方々に、世界の音楽やワインを楽しみながら、国際交流を楽しんでいただくことを目的に開催されました。

今回の参加者は、出演者12名(4組)、来場者71名の計83名でした。イベントでは、演奏タイムだけでなく、フリータイムも設け、参加者それぞれに交流を深めていただきました。

今回、オープニングを飾ったのは、特別ゲストのラティール・シールさん。彼はセネガル出身のポーカーリスト・パーカッションリストで、1995年に来日して以来、日本を中心に活動しています。観客は皆、彼の力強い歌声と太鼓の響きに圧倒されていました。

【第I部】  
管弦ステージ  
初めに素敵なアンサンブルを披露したのは、高鍋町を中心に活動しているボルボロン。フルート、ヴィオラ、キーボードの美しい音色が会場を包みました。

続いて、息の合ったカントリーミュージックを披露したのは、河野ブラザーズ。馴染みのあるメロディーに合わせ、観客も自然と歌を口ずさんでいました。

【第II部】  
アフリカ太鼓ステージ  
第I部とは雰囲気ガラリと変えて、思わず体が動き出しそうな音楽を披露したのは、日向市を中心に活動している、B・bro's。特別ゲストのラティールさんとも共演経験があり、今回も2組のセッションが披露されました。

最後には、ラティールさんのソロ演奏も披露され、あまりの盛り上がり、会場中が音楽に合わせて体を動かしていました。

初めてのイベントでしたが、会場の一体感が感じられる、素晴らしい時間となりました。

## 陶芸体験

1月20日(土)、日向鉾島焼窯元伊勢ヶ浜陶房で、国際交流まちづくり推進協議会主催の国際交流ライトイベント「陶芸体験」を開催しました。このイベントは、日本の伝統文化である「陶芸」を体験しながら、外国人・日本人の国際交流を深めることを目的に開催されたもので、外国人6名、日本人7名の計13名の参加がありました。

まず初めに、陶房内の見学をさせていただきましたが、陶房内には、講師の友清国夫先生が作られた数多くの作品が並べられており、参加者は興味津々でした。

続いて、いよいよ陶芸体験です。まずは友清先生がお手本を披露し、参加者たちは早速作品づくりに移りました。ボウルやコップ、小皿などの形を作った後、葉っぱを使って模様をつけたり、スタンプを押したりと、参加者たちは個性あふれる作品を作っていました。また、作品を作りながら、参加者同士の会話も弾んでおり、日本文化を体験しながら国際交流を深められる、素晴らしいイベントとなりました。

参加者が作った作品は、約1ヶ月で焼き上がり、参加者の手元に届きました。自分で作った作品を使いながら、このイベントのことを思い出せるなんて、素敵ですね！



## 第50回日向市自治公民館振興大会

3月10日(土)に市中央公民館で、日向市区長公民館長連合会主催の「第50回日向市自治公民館振興大会」が開催されました。

今回は「安心・安全で活力ある、健康で明るい地域づくりをめざした公民館活動」を大会テーマに、塩見まちづくり協議会による事例発表や、今村教育長(市教育委員会)による講演があり、参加者は地元地域での活動の参考にするべく熱心に耳を傾けていました。

また、地域振興に貢献された自治公民館功労者と、積極的な広報活動に寄与した優良公民館報の表彰も行われ、その功績が称えられました。



- 自治公民館功労者(順不同)
  - ・赤木 今朝芳さん(切島山2区)
  - ・西村 経治さん(切島山2区)
  - ・萩原 晴巳さん(高砂区)
  - ・志賀 孝生さん(江良区)
  - ・田中 武光さん(江良区)
  - ・松岡 利夫さん(堀一方区)
  - ・柏田 輝男さん(幡浦区)
  - ・平野 良馬さん(亀崎中区)
  - ・関本 弘朗さん(清正区)
  - ・日高 兼文さん(伊勢区)
  - ・田島 俊文さん(別府区)
- 優良公民館報
  - ・しもはら(下原町区)

# 公益的な市民活動団体に取り組む事業に対して助成します ～日向市ひまわり基金事業市民活動助成事業のご案内～

## 市民活動助成事業

公益的な市民活動団体に取り組む、まちづくり（環境美化、防犯、住民間交流など）、人づくり、ものづくり、学習活動などの事業に対して助成します。

助成の額は、事業を実施するために必要な助成対象費用の4分の3以内とし、審査の結果、1事業あたり15万円を限度として交付します。

申請の要件は以下のとおりです。

- ① 公益性・公開性のある事業であること。
- ② 市内で実施されること。
- ③ 市から同様の助成・補助を受けていないこと。
- ④ 1団体、当該年度1回限り。

なお、事業実施1か月前までに申請を行ってください。

事業や募集に関して不明な点、ご相談などございましたら、お気軽に市役所地域コミュニティ課までお問い合わせください。

[問合せ先]

日向市役所地域コミュニティ課（教育別館1階）  
TEL 0982-52-2111（内線6251）

### ★平成29年度の事業例

#### ■JUGON祭り2017



12月3日（日）、日向市駅高架下を会場に「JUGON祭り2017」が開催されました。これは、BMX（自転車競技の一種）やスケートボードをはじめとするストリートスポーツが体験できるイベントで、当日はプロライダーによる講習会も行われました。

BMX、スケートボードは2020年東京オリンピックの実施競技でもあり、今が熱いスポーツの一つです。日向市でのストリートスポーツの普及と、新たな魅力の創出が期待されます。

## 楽しい英会話教室 受講生募集のお知らせ

国際交流員のキャメロンが講師を務める「楽しい英会話教室」の受講者を下記のとおり募集します。

初級クラスと上級クラスに分かれていますので、英語が全くわからない方でも大丈夫です。お気軽にご参加ください。 ※定員に達し次第、締め切り

◆講師：国際交流員 キャメロン・クラーク

◆受講料：無料

◆対象：中学生以上

◆日程・場所など

☆初級クラス（昼の部）

5月～9月までの木曜日、月2回の計10回

14時～15時、中央公民館レクリエーション室

☆初級クラス（夜の部）

5月～9月までの水曜日、月2回の計10回

19時～20時、中央公民館レクリエーション室

☆上級クラス

5月～9月までの火曜日、月2回の計10回

19時～20時、さんびあ会議室



《申込先》

日向市地域コミュニティ課

TEL 0982-56-0017

日向市 協働のまちづくり

検索

発行／平成30年4月1日

日向市 総合政策部 地域コミュニティ課 〒883-8555 日向市本町10番5号  
TEL 52-2111(内線6251) FAX 56-0018

協働のまちづくりニュース 4月号

